
人間発達科学 I

第9回

能力主義をどうみるか

(1) 能力主義の意味と意義

- 能力主義の意味 (meritocracy)
 - ・ 社会的価値の希少性を前提にして、その配分が各個人の能力・業績に応じてなされるべきであるとする考え方
 - 能力主義の意義
 - ・ 属性に基づく配分に対する批判原理
 - ・ 「機会の平等」
 - 「結果の平等」という予定調和
-

(2) 教育現場における能力主義の問題化

①「教育問題」の噴出

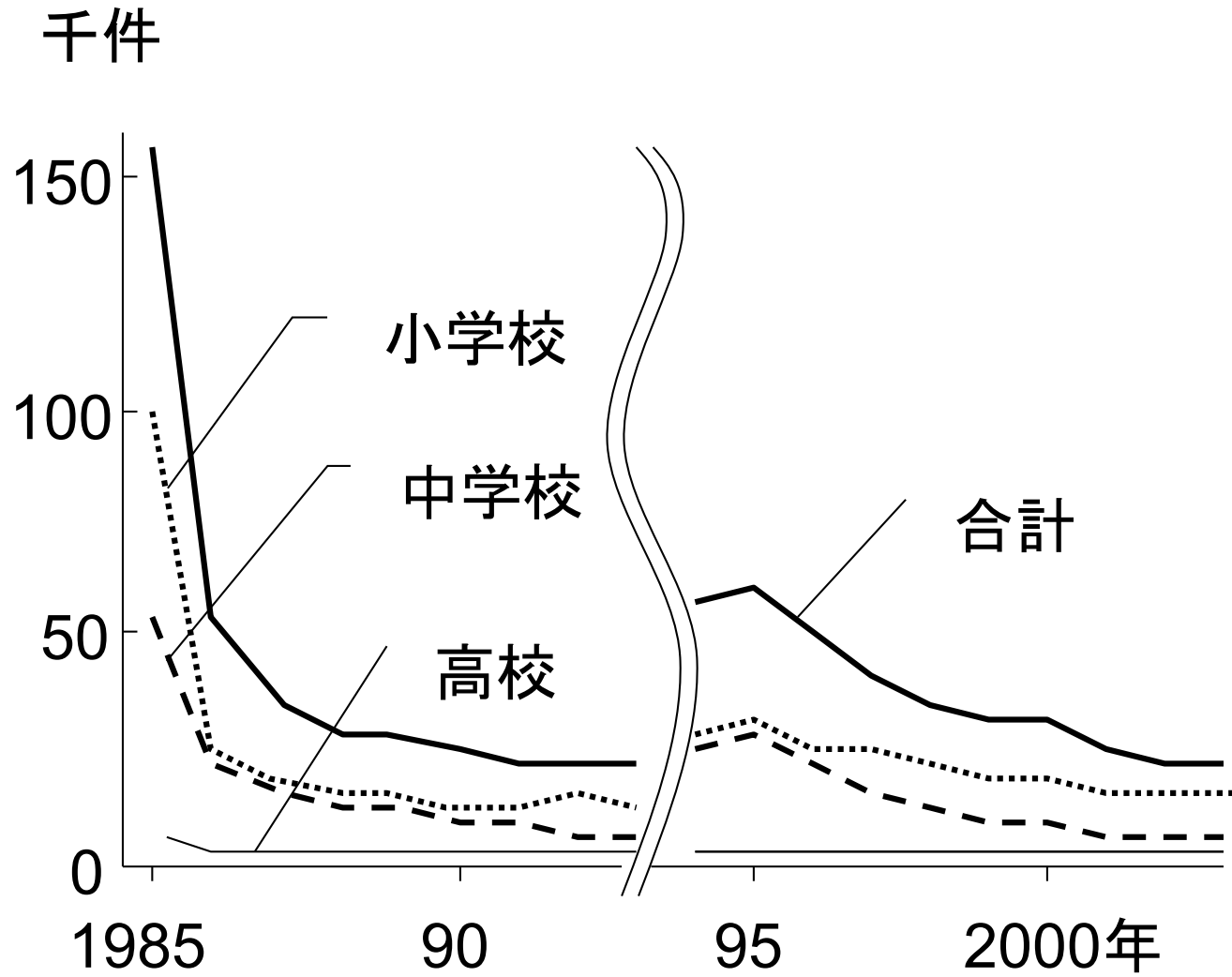
■ 校内暴力

・1976年版『警察白書』

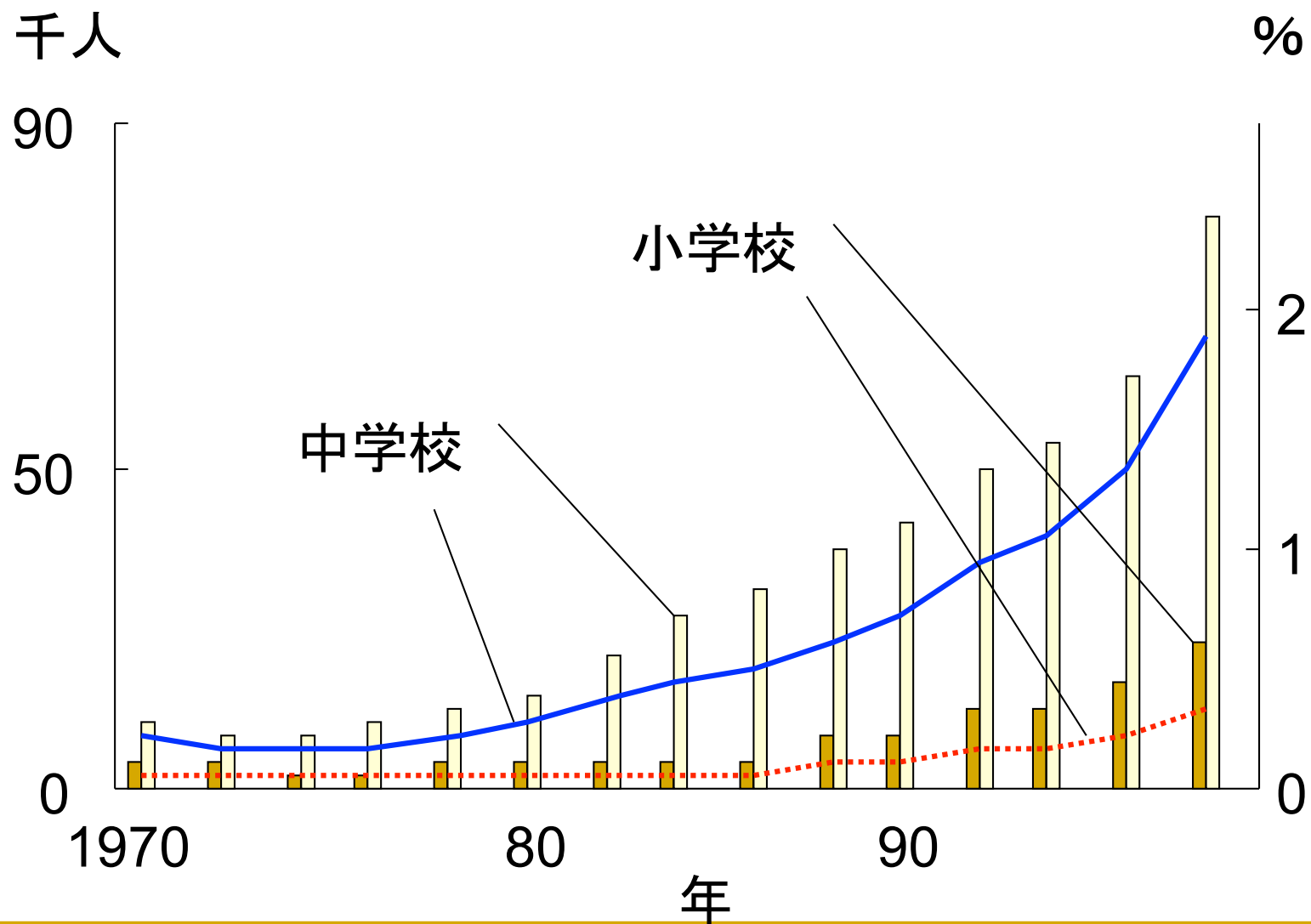
・「増加する校内暴力事件」と説明

年次	総 数		中 学		高 校	
	件数	人員	件数	人員	件数	人員
1973	71	180	58	149	13	31
1974	119	222	91	176	28	46
1975	149	308	119	240	30	68

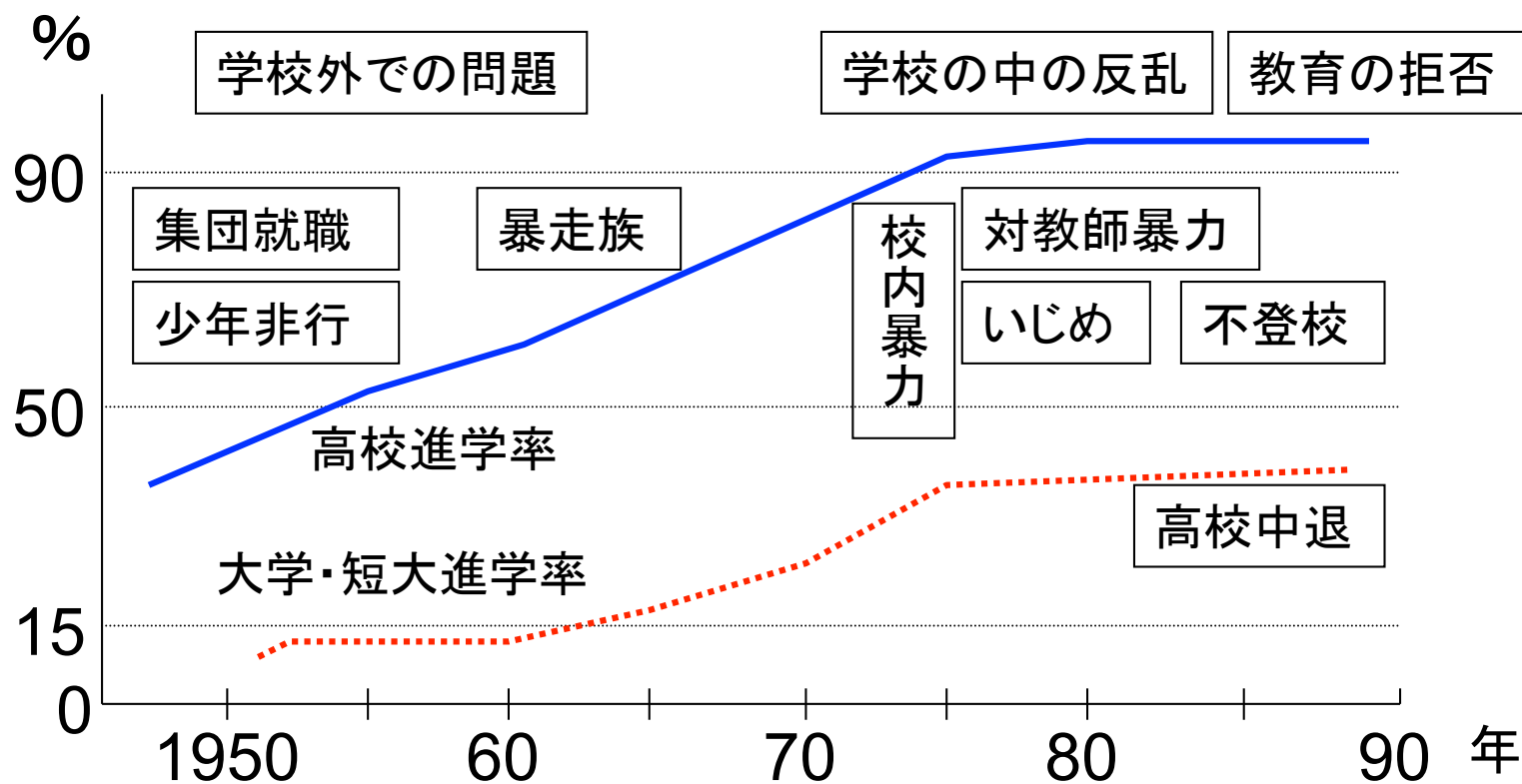
• いじめの発生件数(菊本ほか、2001年)



• 年間50日以上欠席の不登校人数・比率(菊本ほか、2001年)



• 進学率と「教育問題」の変遷(藤田、1997年)



抑制された競争

開かれた競争

閉じた競争

(久富、1993年)

②競争の激化:「一元的能力主義」の成立

- 一つ的能力(知的能力)により人間の序列化
→人間を抑圧
- 1960年代の高校多様化政策 cf. 総合制
- 1963年経済審議会答申「経済発展における人的能力開発政策の課題と対策」
 - ・労働市場の流動化、多元的能力社会を予想
 - ・しかし高度成長下の労働力不足
→労働者の困い込み→終身雇用
→ジョブローテーション→OJT→年功序列
 - ・訓練可能性を意味する偏差値重視

(乾、1990年)

③能力主義的競争のさらなる拡大と教育改革

- 臨時教育審議会による自由化路線
- 1984年8月設置。首相直属の教育諮問機関

「とくに、近年に至り、受験競争の過熱や、いじめ、登校拒否、校内暴力、青少年非行などの教育荒廃といわれる現象が目立ち、極めて憂慮すべき事態が生じている。...今次教育改革において最も必要なことは、これまでの我が国の教育の根深い病弊である画一性、硬直性、閉鎖性、非国際性を打破して、個人の尊厳、個性の尊重、自由・規律、自己責任の原則、すなわち個性重視の原則を確立することである。」
(第一次答申)

■ グローバリゼーションに伴う労働市場の縮小・再編
(乾、1997年)

・価格競争の激化→企業の海外流出

・企業規模別就職先	1000人以上	5~299人
1991年3月卒	53.3%	22.8%
1995年3月卒	29.8	42.4

・日経連『新しい時代の「日本的雇用」』(1995年)

・「長期蓄積能力活用型」

・「必ずしも長期雇用を前提としない高度専門能力活用型」

・「働く意識が多様化している雇用柔軟型」

→「パイ」の縮小に伴う競争のさらなる激化

(3) 能力主義をめぐる議論

①「一元的な能力主義」への批判

- 一時的・一部分の能力を絶対視
 - ・知的能力の一部
 - ・発達のスピードの個人差を無視
 - 遺伝決定論への結びつき
- ⇒能力主義そのものの批判になっていない
- 能力観の捉え直し
 - ・多元的な能力の評価を
 - ・実体論的能力観→関係論的能力観(竹内、1994年)

②能力主義の不徹底さへの批判

■ 差別の残存

- 「すべて国民は…人種、信条、性別、社会的身分又は門地により…差別されない」(憲法第14条)
- 「すべて国民は…その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する」(第26条)

にもかかわらず…

■ 社会階層の再生産

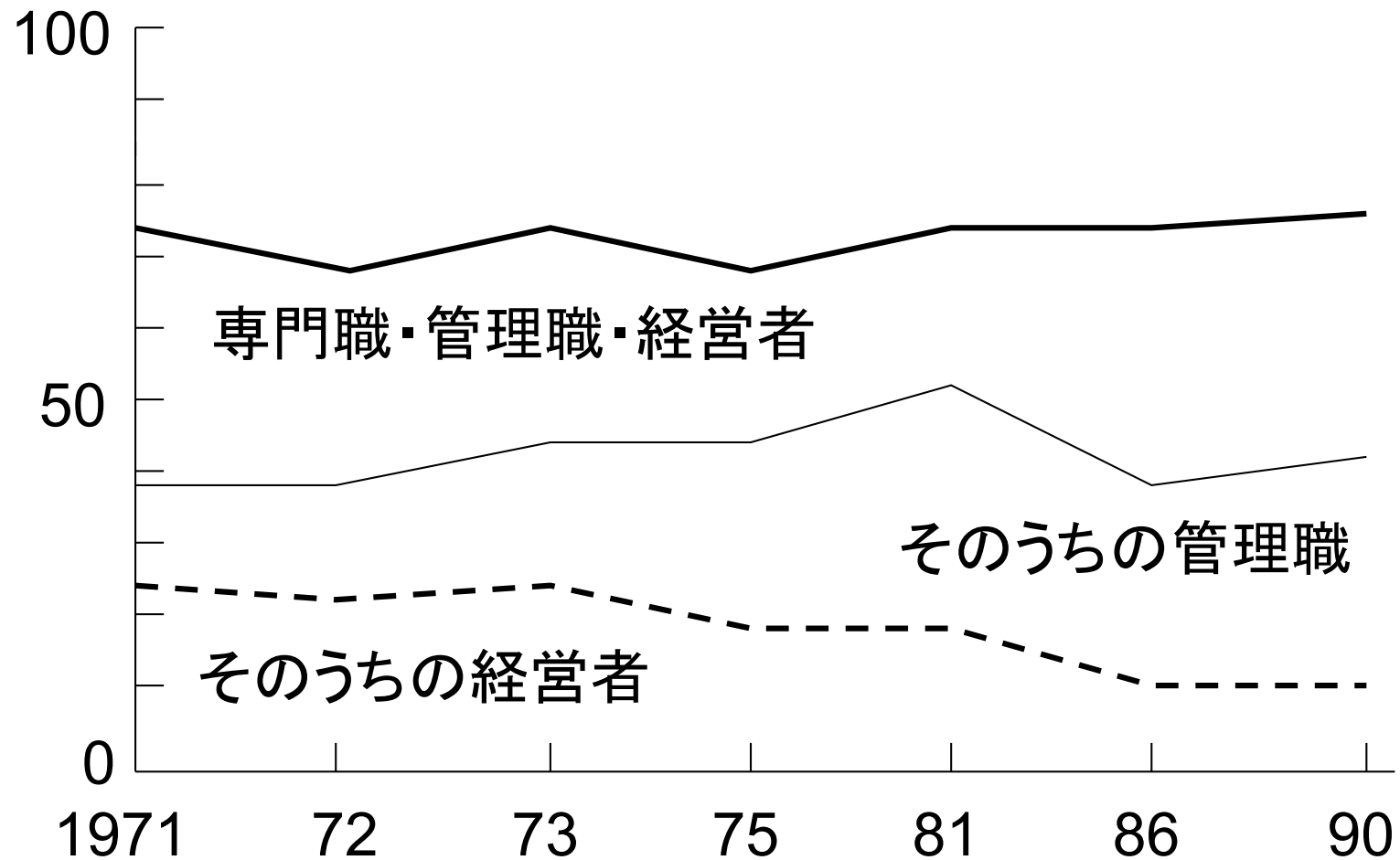
- どの家庭に生まれ、育ったかによって学歴取得に格差が発生

高校別東京大学合格者数の推移(荻谷、1995年)

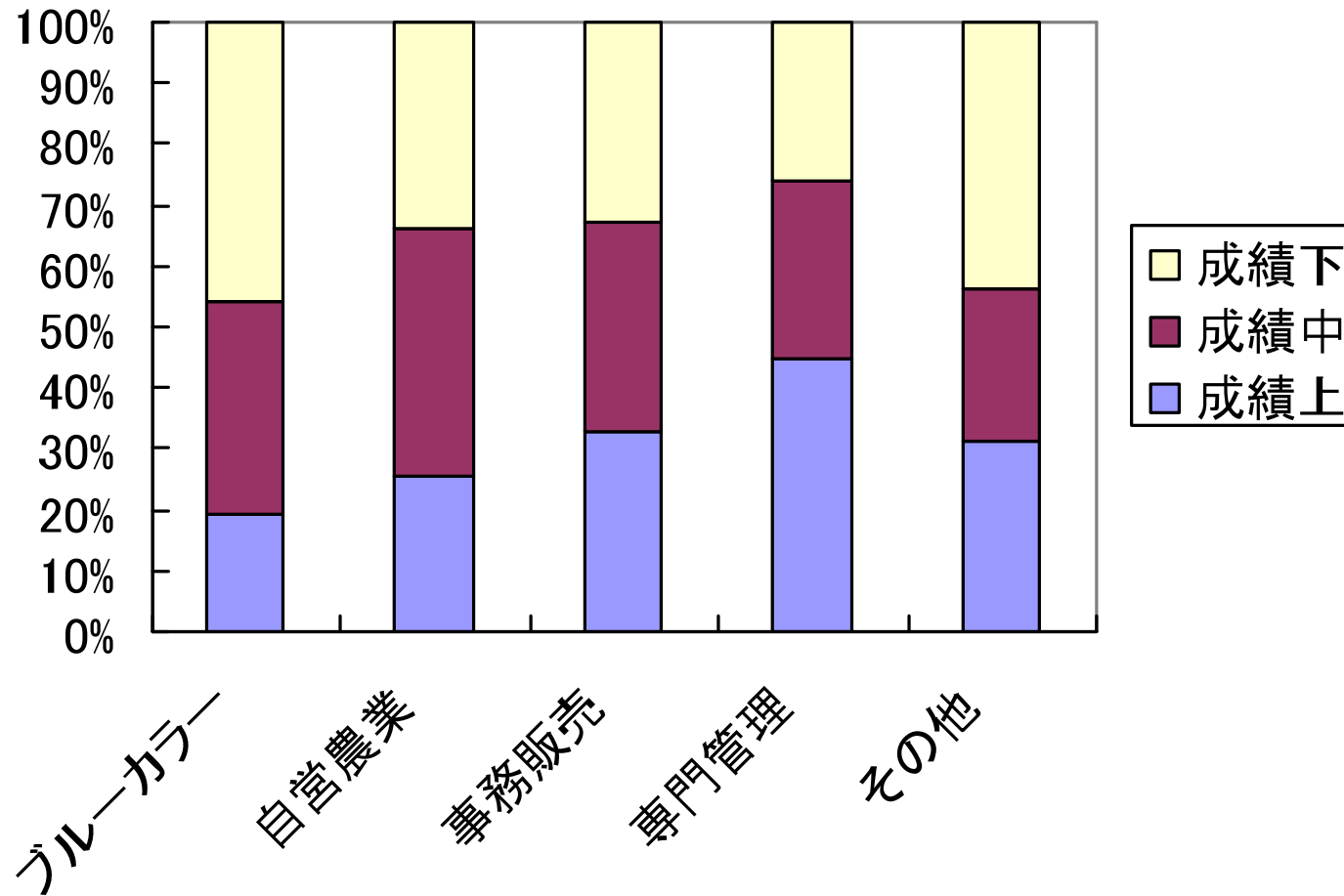
順位	1960年(人)	1970年(人)	1993年(人)
1	日比谷 141	灘 151	開成 158
2	戸山 120	東教大駒場 137	ラサール 101
3	西 100	東教大附 103	灘 94
4	新宿 91	西 100	学芸大附 91
5	小石川 83	日比谷 99	麻布 84
6	東教大附 58	開成 86	桐蔭 73
7	両国 56	戸山 80	筑波大駒場 71
8	麻布 48	麻布 80	巣鴨 52
9	灘 38	湘南 61	海城 46
10	開成 37	ラサール 59	駒場東邦 45
私学率	8%	36%	77%

(「私学率」は上位20校中の私学の比率)

東京大学学生保護者の職業 (苅谷、1995年より)



成績と父親の職業(中学2年生) (荻谷、1995年より作成)




(もとは1992年に行われた東京都立大学の調査)

■ なぜ階層が再生産されるのか？

一つの説明：Bourdieuの文化的再生産論

- ・教育が社会移動を媒介するという考えを批判
- ・再生産過程に経済的要因を直接挿入しない
- ・教育における選別問題を文化の面からみる
 - ・自己選別／自己排除
 - ・支配的な文化範型が機能
 - ・学校の文化範型＝上層社会のハビトウス

文化資本 

身体化された状態（無意識の振る舞い...）

客体化された状態（絵画、書物...）

制度化された状態（学歴、資格...）